

令和5年度鹿児島学習定着度調査の結果と課題及び対策について

鹿児島市立西陵中学校

令和6年1月16日、17日に実施された鹿児島学習定着度調査結果についてお知らせいたします。県の平均との比較は、下記のとおりです。今回の調査で明らかになった課題については、今後 全職員共通理解のもと、その解決に向けて取り組んで参ります。

第1学年通過率(%)	第2学年通過率(%)																																				
<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>第1学年通過率(%)</caption> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>本校 (%)</th> <th>県 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>80</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>60</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>75</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>65</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>75</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>	科目	本校 (%)	県 (%)	国語	80	75	社会	60	55	数学	75	70	理科	65	60	英語	75	70	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>第2学年通過率(%)</caption> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>本校 (%)</th> <th>県 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>65</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>70</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>75</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>70</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>70</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	科目	本校 (%)	県 (%)	国語	65	60	社会	70	65	数学	75	70	理科	70	65	英語	70	65
科目	本校 (%)	県 (%)																																			
国語	80	75																																			
社会	60	55																																			
数学	75	70																																			
理科	65	60																																			
英語	75	70																																			
科目	本校 (%)	県 (%)																																			
国語	65	60																																			
社会	70	65																																			
数学	75	70																																			
理科	70	65																																			
英語	70	65																																			
<p>【国語】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校高学年で既習した漢字が身に付いていない。 ○ 部首についての知識の習得ができていない。 ○ 条件作文の書き方に慣れていない。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で習った漢字も含めた漢字テストや演習を行う。 ○ 部首名等の復習を行う。 ○ 条件作文の練習をさせる。(過去問等にも取り組ませる。) 	<p>【国語】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行書の特徴が理解できていない。 ○ 「枕草子」初段冬の解説が理解できていない。 ○ 擬人法、直喩、隠喩、倒置法の用法が理解できていない。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特徴のある行書を含む文字を実際に書く練習させる。 ○ 現代の感覚と違うことも、想像力を働かせて理解できるように説明する。 ○ 擬人法・直喩・隠喩・倒置法が文中に出てくるたびに確認する。 																																				
<p>【社会】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 記述問題や根拠を基に思考力を問う問題の正答率が高いが、単純な知識を問う問題の正答率が低い。 ○ 正答率が30%以下の生徒もおり、学力の二極化が進んでいる。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の語句(出来事)や資料を関連付けて、概念的な知識を身に付ける取組みを通して、単純な知識の長期記憶につなげさせる。 ○ 個別指導の機会を増やしていく。 	<p>【社会】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図記号を覚えていない生徒が数名いた。 ○ 松平定信の改革についての理解が不足している。 ○ 元禄・化政文化についての理解が不足している。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図記号を再確認させる。 ○ 享保・寛政・天保の改革について再復習させる。 ○ 元禄・化政文化について復習する。 																																				
<p>【数学】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 比例や反比例の具体的な事象を捉え、問題解決することができていなかった。 ○ グラフの見方が理解できていない生徒が数名いた。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎を徹底しながらも応用問題に対応できるように課題を工夫する。 ○ 単元ごとに事象を見通しをもって考察し、表現する力をつけさせる。 ○ 基礎的な計算力をつけるために、小数、分数、正負の数、文字式、1次方程式、比例・反比例の復習を定期的に取り入れる。 	<p>【数学】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1次関数のグラフを書くことや、ただ作図することはできるが、具体的な事象と1次関数を関連付けた解釈や説明が苦手である。 ○ 問題文(説明文)が長いとしっかりと読み取ることができていない。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1次関数の応用については、グラフと式がつながっていることが実感できるような問題に多く触れる機会をつくる。 ○ 基礎的・基本的な問題は今まで通り演習に取組み、応用問題は問題文の読み取り方や答え方に触れ、自分で説明する機会をつくる。 																																				
<p>【理科】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問いに書かれている文章の意図が読み取れていない。 ○ 既習事項を組み合わせて活用する思考ができていない。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 語句用語や気体の性質などは覚えているが、この性質を活用した設問に対して思考する力が弱いと考えられる。よって一問一答式の覚えることから、複数の関連付ける問いに対して書かせる活動を増やす。 	<p>【理科】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グラフの意味やグラフを活用した考え方が身につけていない。 ○ 湿度や露点の意味がはっきりしていないので、それに関する自然現象と結びつけて考えられていない。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グラフが表す意味を再度確認し、それを活用した考え方を復習する。 ○ 湿度、飽和水蒸気量、露点の関係をしっかりと押さえた上で、自然現象と結びつけさせる。 																																				
<p>【英語】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聞いたことをとっさに聞き分けることができていない。 ○ 曜日と午前、午後の理解ができていない。 ○ 話の前後関係から得たい情報を絞って探すことができていない。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聞く練習を行う。曜日・月等を宅習等に毎日書くことを定着させる。 ○ 教科書の本文を読む際に、必要な情報を探し出し、線を引かせる。 ○ 文の大意やテーマを考えたり、文章を要約したりする練習を行う。 	<p>【英語】課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文の最初・最後からテーマが判断できていない。 ○ 目的格の人称代名詞を所有格と誤認した生徒が多かった。 ○ 動詞の活用に注意ができていない。 <p>改善に向けての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パラグラフリーディングに取り組ませる。 ○ 人称代名詞・疑問詞等も含めた五文型の理解学習を繰り返していく。 ○ 作文時に人称や時制、語順をペア学習を通して自己チェックさせる。 																																				